

# 背景を考えて言動がとれる大人に

左下は、今朝の三年B組の黒板に書かれていた担任のメッセージの一部です。職員の中には、最近一部の生徒のタブレットの使い方に関する問題があるという指摘があります。扱い方というより、何に使っているかという用途ですね。あなたの用途はいかがですか。

タブレットがどうして皆さんに貸与されたか知っていますか。恐らく、問題のある使い方をしている人はわかっているのではないでしょうね。わかっている問題のある使い方をしているなら、正直言って幼すぎると私は思います。

文部科学省が推進する「GIGA(ギガ)スクール構想」によって、タブレットが全国の小中高生のところにやってきました。難しそうですね。簡単に言うと、これからの若者はICT端末を活用することが必要になってくるから、国が巨大な予算を投入して一人一台を準備したのです。

これについては、二〇一九年から五年かけて実現する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症が全国的に広がり、学校に来られない日が続いたため、急きよオンラインを活用した授業や学習が必要になってきたのです。そこで、国はスケジュールを前倒しし、予算を急いで準備しました。

大変だったのは、国だけではありません。むしろ、県や市町村の方が苦勞が大きかったと私は思います。特に、市の教育委員会は大変でした。タブレットの購入、学校への配付、活用できるようにするための準備(タブレットやWi-Fi環境等)に東奔西走。発注を受けた業者も、てんてこ舞いの忙しさでした。

瑞浪市の担当者を私はよく知っていますが、現場の学校と県や国の間に挟まれて、本当に苦勞して瑞浪市の小中学校にタブレットを準備してくれました。そんな人々の苦勞がぎっしり詰まっているタブレットを、自分の楽しみのために使っている生徒には、はつきり言っていない気がしません。

「与えられた」という都合のよい事実だけをとらえ、勝手気ままな使い方をしているよいいものでしょうか。とてつもなく巨大な予算、これからの若者にかける大きな期待、そして、準備に携わった人々の苦勞、そういうものが背景にあるタブレットで、あなたはゲームまがいのことができずか。個人的な趣味を追究するツールとして使えますか。

物事の背景を考えて、自分の言動がとれるようになることがこれからの皆さんには必要です。自分でお金をためて買ったものは大切に使うでしよ。それは自分の思いだからわかりやすいだけで、与えられたものには、与えてくれた人の思いや苦勞が詰まっているのです。それがわかる大人になりましょう。

(十月二十九日 記)

さて、話は変わり、最近タブレットは  
正しく使えていないか？  
学習を支援するものとして、適切な  
道具はありますか。